

済生会小樽病院 公開・オプトアウト書式

①	申請番号	R1- 8
②	研究課題名	廃用症候群入院患者のADL能力を中心とした特性調査
③	情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	廃用症候群によりリハビリの指示が出された入院患者の特性とリハビリを含めた治療による廃用症候群の変化を調査し、ADLの向上に影響する要因を検討すること
④	利用または提供する情報の項目	性別、年齢、廃用をきたした疾患名、運動麻痺の有無、入院前の生活場所、要介護認定、入院前の移動手段・FIM、在院日数、入院からリハビリ開始までの期間、リハビリ実施期間、一日あたりの平均実施単位
⑤	対象者及び対象期間	当院一般病棟に入院し、2020年4月1日～2021年3月31日の間に、主治医より廃用症候群のためリハビリが必要と判断された入院患者
⑥	利用の範囲	研究者のみ
⑦	資料・情報の管理について責任を有する者	済生会小樽病院 【リハビリテーション室 平塚 渉】
⑧	問い合わせ先	済生会小樽病院 総務課 0134-25-4321

もし、研究や情報の提供に同意いただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。
なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。